

オシンゴシンの滝においてよ



ノラのストラップ

つうしん 斜里

大人気の売店看板猫「ノラ」 今年も観光客を招く



まるまるとした体、こぼれ落ちそうなほっぺた。観光客のアイドル、ノラ(オシンゴシン館提供)

◇本社 ☎093-0035
網走市駒場南1丁目1-6
☎ 0152-45-8080
FAX0152-45-1511
Eメール
ab-times@eagle.ocn.
ne.jp

◇ご購入の申し込み
本社または
斜里町文光町60-8
読売斜里サービスセンター
☎ 0152-23-2444
FAX0152-23-5846
(担当記者・編集部
中山よしこ)

オシンゴシンの滝の売店に住む「生ける招き猫」ノラが観光客やインターネットで人気を集めている。知床観光が本番を迎え、今年もノラの季節がやってきた。

オシンゴシンの滝売店「オシンゴシン館」(日本森林林業振興会)は毎年4月から11月の観光繁忙期にオープンしており、ノラは看板猫。冬期間閉鎖中は同店の事務所が面倒を見ている。

推定年齢10歳のオスで体重は約5キ、まるまると太った貫禄のある風体で、店員や観光客らにかわいがられており、その人気は「滝」をしのぐほど。

日野勲店長(71)によるとノラが住みついたのは2005年の夏。

同年10月、TBSのテレビ番組に登場したのを機に知名度が急上昇し「ノラ会いたさ」に

訪れる人が急増した。受けて写真入りポストカードやストラップなど「ノラグッズ」を販売し、一風変わった土産

品として好評を博している。特にポストカードは昨シーズンで300枚以上を売り上げた。インターネットのブログなどでノラの写真を掲載する観光客も多数にのぼり、ますます人気の輪を広げている。

そんな周囲をよそに、当のノラは1日の大半を昼寝に費やし、天気の良い日はベンチやテーブルを上領して日向ぼっこ。カメラを近づけても全く動じず、今も愛きようある観光大使として立派に役割を果たしているよう。

面倒を見る店員らは「わがまま猫だけど、いないと寂しい。年なので静かにかわいがってね」、日野店長も「アイドルになっちゃったからね。手放せないし最後まで看取りたい」と思っているよ」と目を細めていた。